

富士山世界遺産センターの主な対話事項・課題等について

主な対話事項及び施設固有の課題を踏まえ、対応策等に関するアイデアがございましたら、積極的な御意見、御提案をお願いします。

【主な対話事項】

1. 施設の価値と現状認識

- **富士山世界遺産センターとしての使命・魅力**
 - 富士山の文化的・自然的価値を発信する拠点としての強み
- **施設・設備の課題と可能性**
 - 展示・学習機能の充実度、来館者動線、ICT 活用の現状
- **ソフト事業の課題・魅力**
 - 学習プログラム、観光案内、地域文化との連携状況

2. 民間ノウハウを活かした価値創出提案

- **(1) 体験・交流型事業の提案**
 - 富士山の自然・文化をテーマにした体験型イベント
 - 多世代・インバウンド対応のプログラム
 - リピーターを生む「季節性」「ストーリー性」のある企画
 - 周辺観光資源との連携（道の駅、登山道、温泉など）
- **(2) 施設整備・機能強化の提案**
 - カフェ・ショップなど滞在価値を高める空間の改良整備 など
- **(3) 事業方式・収益モデルの提案**
 - 収益施設（飲食・物販）の改善による更なる運営還元 など
- **(4) 広域連携・管理形態の提案**
 - 富士山周辺施設との協力体制構築
 - 指定管理期間の長期化による安定した施設運営 など
- **(5) 自主事業のアイデア**
 - 国際交流イベントや更なる学術連携 など

【課題】

- ・ 来館者ニーズを捉えた企画運営による更なる来館者数増加
- ・ インバウンドを視野に入れた高付加価値サービスの提供や多言語対応
- ・ ファミリー層などの新たなニーズを捉えた企画実施
- ・ 来館者情報の戦略的活用